

令和3年度 第1回 総合教育会議 会議録

開催日時	令和3年6月15日(火) 午後1時30分～				
開催場所	本庁舎 301・302会議室				
会議出席状況	市長	津久井 富雄	出席		
	教育長	植竹 福二	出席		
	教育委員	深澤 道昭	出席	川上 聖子	出席
		小林 朋子	出席	森 泉	出席
		渡邊 英憲	出席		
	事務局	教育部長	大森 忠夫	教育総務課長	高野 浩行
		学校教育課長	明澤 伸宏	国体推進課長	大島 実
		学校教育課	尾畑 宏之史 矢口 晃之史 藤田 知史	教育総務課 (事務局)	伊東 佳子

次 第

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1 開 会 | 午後1時30分～ |
| 2 あいさつ | 市 長 |
| 3 議 事 | |
| (1) G I G Aスクールについて | |
| 4 その他 | |
| (1) 国体に向けた開催準備における進捗状況について | |
| 5 閉 会 | 午後2時50分 |
| 6 会議要旨 | 次のとおり |

令和3年度 第1回 大田原市総合教育会議 発言要旨

令和3年6月15日(火)

開会 (午後1時30分～)

○教育部長

定刻となりましたので、ただいまから、令和3年度第1回大田原市総合教育会議を開会いたします。

初めに、本会議の主催者であります、津久井市長があいさつを申し上げます。

○市長

(市長 あいさつ)

令和3年度第1回大田原市総合教育会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この会議は、平成27年に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長と教育委員が十分な意思疎通を図り本市の教育課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政とするため、市長が招集するものとなっております。

これまで教育に対して行政が意見することはまかり通らぬということでしたが、これからは教育委員会、教育現場と行政が連携を密にしながらよい関係を構築していくと明記されました。

本日議題にあがっておりますGIGAスクールについて尾畑教育情報企画監から事業の状況とこれからの計画についてお知らせいただくこととなっております。大田原市では令和3年4月1日からの開始に先立って各学校へタブレットの配布を行ってきたところであります。

コロナ感染症の中で、日本のICT知識技術を習得している人材が不足しており、コロナ感染症への対策に非常に時間がかかっているということで、技術大国と言っていたが他のICT先進国から見ると現実とは違っているのだなということが明確になり、日本のICT行政の立ち遅れが露呈したところで政府等においても大きな危機感をもっているところです。

そういった中で国の全面的な支援の中、生徒一人一台のPC配布がされGIGAスクールが開始されたところです。

教育長、尾畑教育情報企画監、各学校長をはじめ皆様方のご助力でスムーズなスタートができたと思っておりますが、まだまだ課題も多かろうと思っております。今日の会議の中でそういったことについてお知らせいただきながら、今後どのようにしていけばよいのか、委員の皆さまには忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○教育部長

それでは、次第の3 議題について協議していただきます。ここからの議事進行は、大田原市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定に基づき、津久井市長が行います。

○市 長

円滑な議事運営に努めさせていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

本日の議題は、次第3に記載のとおり1件でございます。

それでは、(1)「GIGAスクールについて」につきまして、尾畑教育情報企画監の説明後、ご協議をお願いいたします。

○学校教育課
(尾畑教育情報企画監)

【今年度の推進計画】

・ICT活用推進目標

「ICTの有効活用により子どもたちのさらなる学力向上を図る」

・目標達成のための3つの具体目標

児童生徒1人1人に合わせた学習を進める

将来の生活や仕事につながる使い方を身に着ける

自分自身を冷静に分析し対策を講じる力を育てる

・活用のコンセプト

毎日使うことで工夫改善・深化される。

・令和3年度のICT活用の進め方

4～7月 日常化の推進

9～11月 常態化・定型化の推進

1～3月 安定的活用の推進

・令和3年4月から5月の状況

毎日、毎時間の使用。まずヘルスチェックから。

効果的な活用を目指し授業で工夫する。

効果的な活用方法を共有する。共有する仲間を作る。

家庭とWiFi接続の確認をする。遠隔学習の準備をする。

【現在の利用状況（動画）】

【今後の進め方】

6・7月 PCの持ち帰り訓練（休校対策）

朝の活動の充実（使い方の習熟）

効果的な活用の共有（学力向上）

9～11月 児童生徒活動や行事での活用

各校特色ある活用

他校との連携

家庭での活用を見据えた使い方

1～3月 児童生徒や教員による簡単な課題解決

次年度計画立案

○市 長

説明が終わりましたので、協議に入ります。ただいまの説明に対しましてご意見、ご感想などがございましたらお願いいたします。

○小林委員

5月21日に紫塚小学校を見学させていただきました。尾畑先生も来校された日で、説明を聞きながら見させていただきました。

紫塚小学校は教室とは別のところでパソコンを保管していて、そこから持っていくのが朝のスタートだったのですが、本当に大切そ

うに持っていたのが印象的でした。先生方が機器の大切さ、そういう風に扱うんだよという指導をされているんだなと感じました。

そのあと一時間目まで見せていただいたのですが、それぞれの教科に取り入れられていて素晴らしいなとも感じたのですが、クラスに入ってしまうとほかの先生方やほかのやり方が見えなくなってしまう部分もあるかと思います。差があるという訳ではないのですが、校長先生や教頭先生などが見て回って、使い方の共通理解ができていくとみんなでレベルアップしていくのではないかなと思いました。

○森委員

素晴らしい話が多くて、よい取り組みなのだと感じています。驚いたのがタブレットなりパソコンを使っていくと、姿勢がよくなったり集中力が高まったりするということです。

夏休みからの持ち帰りなのですが、W I F Iなどの心配は解消されているのかというところを聞きたいです。

○学校教育課
(藤田主査)

パソコンの持ち帰りについては、家庭のW I F I環境の確認を目的に行います。W I F I環境について、昨年度8月に調査を行いまして、333世帯でW I F I環境がないということが分かっております。それから1年が経過してどのようになっているか、今度は実際に持ち帰ってもらってインターネットアンケートに回答してもらうことで現状を把握いたします。

○学校教育課
(尾畑教育情報企画監)

持ち帰りができるかどうかの確認を今現在進めております。

研究校では、実際に持ち帰った時にどうなるかを検証しております。教育長指示もありまして、コロナ禍でどうなるか分かりませんので、どのような事態にも対処できるよう準備をしているところでございます。

○渡邊委員

私も尾畑先生と一緒に地元の須賀川小学校と両郷中央小学校の小規模校、モデル校を見学させていただきました。小規模校ということもあって子どもたちの覚えが早いという気がしました。まだ判断するのはなかなか難しいかもしれませんが、一言でいいますと素晴らしい以外の言葉が出てこないようなレベルでした。

私の印象に残っているのは、低学年の道徳の授業で、文字入力ができない子たちが絵で表現して感情を伝えるということを行っていたことでした。

特別学級についてですが、知的障害の方は字を絵と認識しているため書き順がほぼ覚えられないのです。小学校ではクロームブックを使って動く文字をなぞって書き順の練習をしていました。特別学級では特に有効なのではないかなと感じました。

それから小中一貫の良さを感じました。特に小規模校なので黒羽地区全体でつながるなど活用がされているなど感じました。

その他、朝のヘルスチェックにおいて、子どもから相談しにくい

ことに対しても保健の先生、校長、教頭、担任などが迅速に対応できるので、勉強だけでなく生活面でも役に立つのではないかなと思います。

見た感想ですが、どうしても机が狭いです。教科書・ノートに加えてパソコンも置くようになりましたので、余っている机をつけて使うなどの工夫はされているのですが、最大のネックだと思いました。

それと、広報紙などでG I G Aスクールの周知はしていると思いますが、先生が楽しんでいるのではないかという印象をもたれているようなので、コロナ禍が終わったらぜひ一般公開をして実際に活動を見ていただければと思います。

○川上委員

子どもたちがすごく楽しく取り組んでいるなという印象でした。

私はマウスを使っていますが、マウスを使わないんだなとつくづく感じました。それから子どもたちの吸収力のすごさが、映像を見ることでわかります。ご説明に感謝します。

コロナ禍でリモートなどが盛んにおこなわれている時期なので、子どもたちが情報共有できる環境にあることで、今の時期を大切に使えるのかなと思います。

小中一貫校では中学校の数学の先生が小学生に算数を教える取組が始まっていると思いますが、それを児童と一緒にクラスの先生たちが見ることで、教え方の共有であるとか先生の学びにもなるのかなと感じました。

○深澤委員

G I G Aスクールはついこの間スタートしたばかりなのに、あっという間にいろいろな使い方を先生たちが工夫していて、その成果で子どもたちがいきいきと勉強している姿を見せていただいております。

こんな風に変わるんだなど、古い人間からしてみればとても大きな変化だと思っています。

小規模校の方がG I G Aスクールのメリットがあると感じていますが、先生方の運用の仕方でより大きな効果が出るかと思っています。まだばらつきはあるかと思いますが、今後どのように調整していくのか、学校訪問させていただきながら進捗に期待したいと思います。

○教育長

G I G Aスクールについて、校長によって意欲の違いがあると思います。私も学校訪問を行っています。尾畑先生にも、ぜひその点について見ていただきたい。

それから深澤委員と同じ心配をしております。教員の習熟度によって効果の差がでてしまいます。機器の習熟度ではなく、指導技術の差によるものなので、機器を使うことによって指導技術の向上が図れないものか、尾畑先生、藤田先生には研究をお願いしたい。

○市 長

各委員様から素晴らしいご意見をいただきましてありがとうございます。事務局の方からお答えしておきたい点がございましたらお願いします。

○学校教育課
(尾畑教育情報企画監)

遠隔教育についてですが、いろいろな学校がお互いに接続して勉強をしたり、与一伝承館とつないで授業をするというものです。与一伝承館には地元の指導員や市の職員がおり、伝承館と遠隔教育を行いたいという話があります。湯津上地区の学校が指定研究校となっておりますので、6月23日と30日に実際につないで授業を行う計画をしております。

そういうものがどんどん広がって行って学んでもらうのが大事になっていくのかなと思います。

○市 長

その他何かございましたらご発言をお願いいたします。

ないようですので私の方からお話させていただきます。

まず感謝申し上げます。

最近、他市のある先生から、まだパソコンを置いてない、つながらないんだとのお話をいただきました。

それから見ますと大田原市の取組みに対して先生方、委員の皆様、教育長の指導、誠にありがとうございます、素晴らしいロケットスタートが切れたと思います。

先生よっての指導力の差があるということは想定されたことですが、パソコンに不慣れな先生への対応をどのようにしていくかということについて、石上小学校の郡司校長先生から誰一人取りこぼしのないICT教育の現場を作りたいとのお話をいただき大変感銘を受けました。校長先生自らがそういった方針で、現場の苦労を見ているながらも落ちこぼれさせないというリーダーシップを自覚され、スタートを切ったというのはありがたいことだと思っています。その考え方を校長先生には真っ先に持っていただきたい。校長研修会を徹底し、校長先生には職責を果たしていただき、進捗について段階的な成果評価をして、進んでいない学校の校長には自覚を促していただきたい。校長先生の考え方で進捗率もレベルも変わってしまう。幸いにも大田原は担当の先生、職員の方のグループワークによりわずかな期間で浸透させられたので、自信を持って今後も取り組んでいただきたいと思います。

○市 長

次に藤田先生からご説明をお願いいたします。

○学校教育課
(藤田主査)

【クロームブックの操作体験】

- ・ヘルスチェック
- ・授業

- 市 長 何か質問等ございますか
- 教育長 学校間等の接続の進捗状況について、他市町と比較してご説明をお願いいたします。
- 学校教育課 (尾畑教育情報企画監) 一つの学校やモデル校で研究が進んでいるというのはあると思いますが、使い方、学び方も含めて市全体で取り組んでいるのは、少なくとも県内では大田原以外にはありません。
- 教育長 ある市議の方から、那須塩原、矢板、那須で取り組みが進んでいると言われたのですが、やはり一度市議の皆様にも集まっていただいて、大田原市の成果を見ていただきましょう。
- 市 長 このような会議を設定していただいてもよいと思います。あとはモデル校を視察していただくなども。
- 市 長 一般の先生の意識はどうですか。
- 学校教育課 (尾畑教育情報企画監) とても高いです。最初のころは校長先生と私だけで話をするような状況だったのですが、今では教頭先生も教務も推進員もみんな話に入ってきます。どういう使い方がよいか映像資料を見せると、次の週には教材を作ってくるような状況です。
- 市 長 分かりました。
英語学習について、那須塩原市では全校にALTを配置していると聞きますが、大田原市では少ないと聞きます。その弱点を補うためにも英語教育への活用を研究していただきたいと思います。
また、セキュリティにも気をつけて外国ともつながれるといいですね。
- 市 長 他にはご質問等ございますか。
ないようですので、以上でG I G Aスクールについての協議を終了いたします。
議題は以上となりますので、ここからの進行は事務局をお願いいたします。滞りなく議事を進行することができましたことに感謝申し上げます。
- 大森部長 貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。
次に、次第の4 その他 に移りますが、次第に記載がありますとおり、国体推進課より、国体に向けた開催準備における進捗状況について、ご報告いたします。
- 国体推進課 (大島課長) ○児童生徒の協働に関して三つの事例の紹介
1 「応援のぼり旗」の制作

- 2 「いちご一会花リレー」への参加
 - 3 「カウントダウンボード」の制作
- 三重とこわか国体競技の視察について
- 国体開催順序について

○大森部長

ただいまの報告に対し、質問やご意見、ご感想などはございますか。

特にないようですが、その他皆様から何かございますか。

それでは、以上で令和3年度第1回総合教育会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

閉会 （午後2時50分）